

型 番 ATE660025

お客様へ

コイズミ照明器具をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。

保存用

【安全上のご注意】

 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
 厳守	 禁止	 禁止	ぬれた手で差込プラグを触らないでください。 →感電の原因になります。
			電源コードに重いものを載せたり、挟み込んだり、踏んだりしないでください。 →電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。
 禁止	 禁止	 厳守	電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。 →電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。
			電源コードが損傷した場合(芯線の露出・断線など)、速やかに電源を切り、工事店・電器店に修理を依頼してください。 →そのまま使用しますと、火災・感電の原因になります。
 禁止	 禁止	 厳守	長期間使用しない場合は差込プラグを抜いてください。 →長期間の外出やご旅行のときは安全のため、コンセントから抜いてください。
			異常を感じた場合は、速やかに電源を切り、差込プラグを抜いてください。 →放置しますと火災・感電の原因になります。 工事店・電器店にご相談ください。

 注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
 接触禁止	 水ぬれ禁止	 禁止	点灯したまま器具を持ち運ばないでください。 →火災・感電・故障・やけどの原因になります。
			器具の近くにストーブなどの高温のものを置かないでください。 →火災の原因になります。
 禁止	 禁止	 厳守	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。 工事店・電器店に依頼してください。
			表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使わないでください。 →火災・感電の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書		
※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。		
＜保証について＞ 1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。 但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器は3年間です。 3. ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。		
＜アフターサービスについて＞ 1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 2. 保証期間を過ぎていた場合は、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。 ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。 ※This warranty is valid only in Japan.		
保証期間(お引き渡し日より)	お買上年月日	取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
本体: 1年間	安定器: 3年間	
お客様	お名前	
	ご住所	
	電話 ()	

■定格

型 番	定格電圧	消費電力	使用ランプ
ATE660025	AC100V	132W	ハロピン球 JD110V 25W(G9)×6

※リモコン送信機で消灯した場合、約1Wの電力を消費します。

■使用前の確認

設置場所を確認する

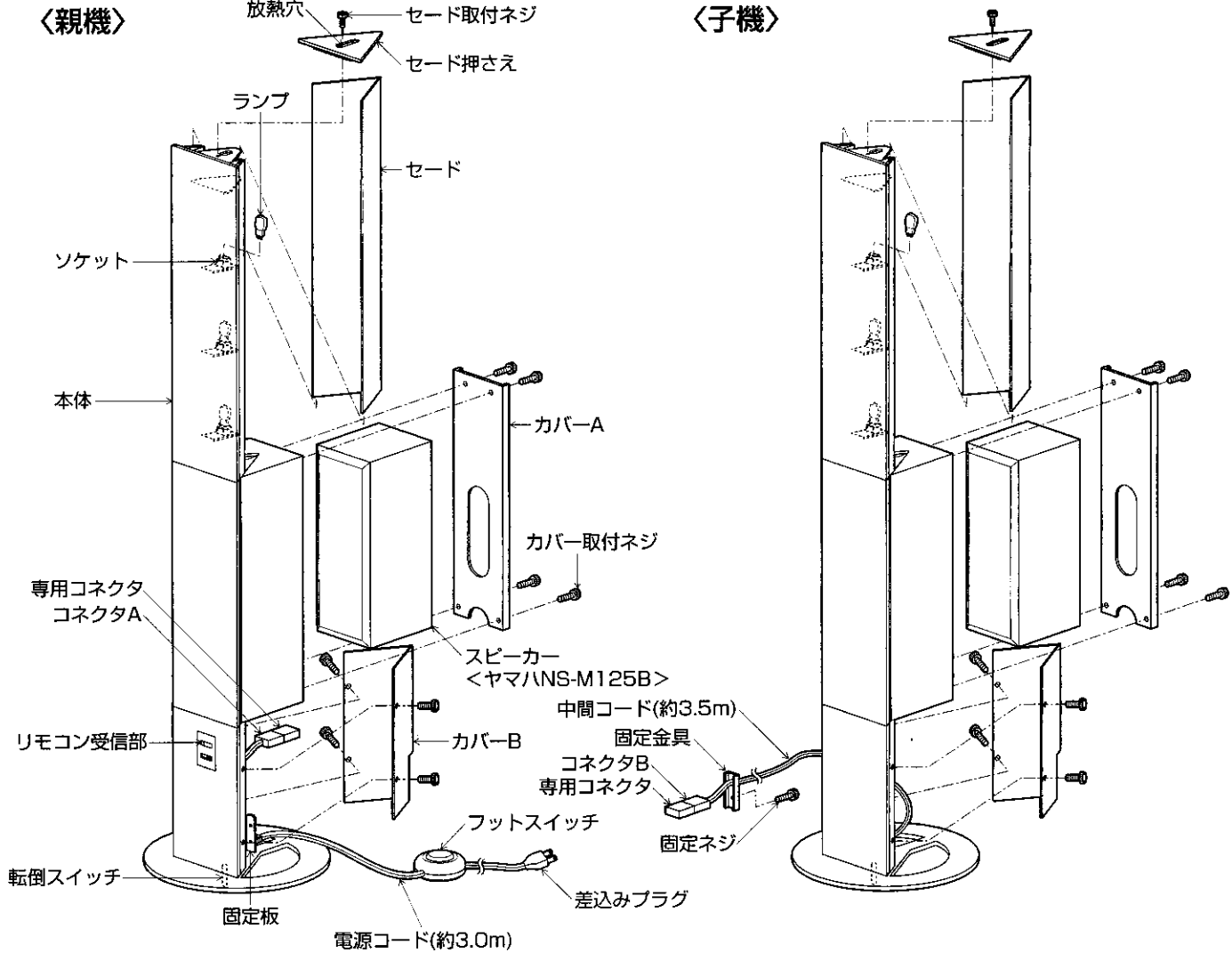
- 不安定な場所、状態で使用しない。
凹凸のある場所や柔らかいじゅうたんの上で使用すると、転倒スイッチが「切」になり点灯しない場合があります。
- 倒れないよう安定した場所で使用する。
- リモコン受信部が障害物等でさえぎられない場所で使用する。
リモコンが作動しない場合があります。

2 スピーカーについて

スピーカーは必ず指定のスピーカー(別梱・ヤマハNS-M125B)を使用する。

■設置手順 △注意 組み立ての際は必ず差込プラグを抜いてください。感電の原因になります。

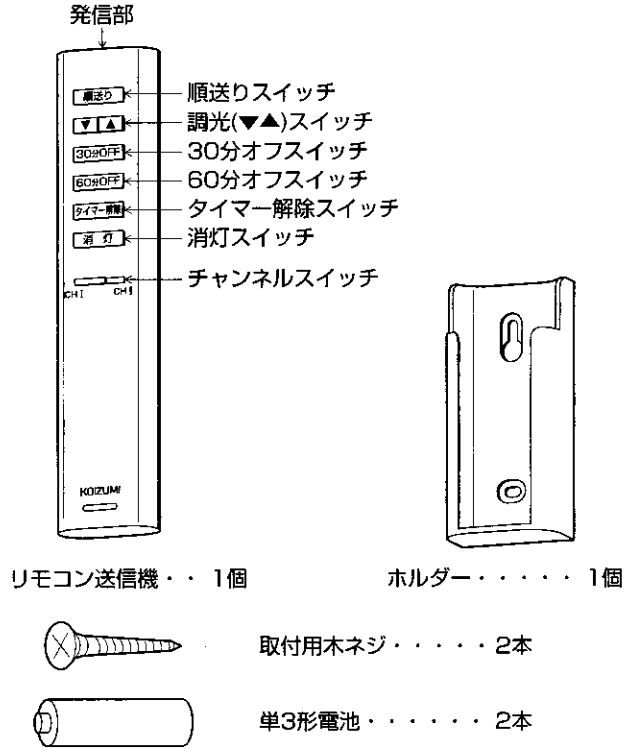
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



〈付属部品〉

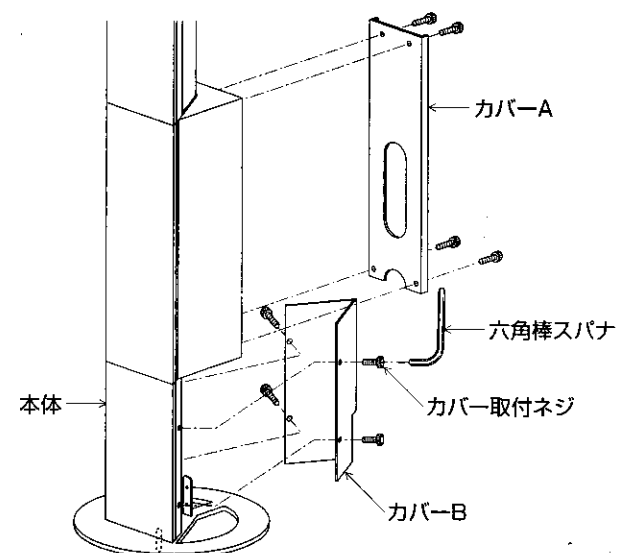
- スピーカー取付ネジ・・・4個
- 六角棒スパナ・・・・・・1本

〈リモコン送信機一式〉



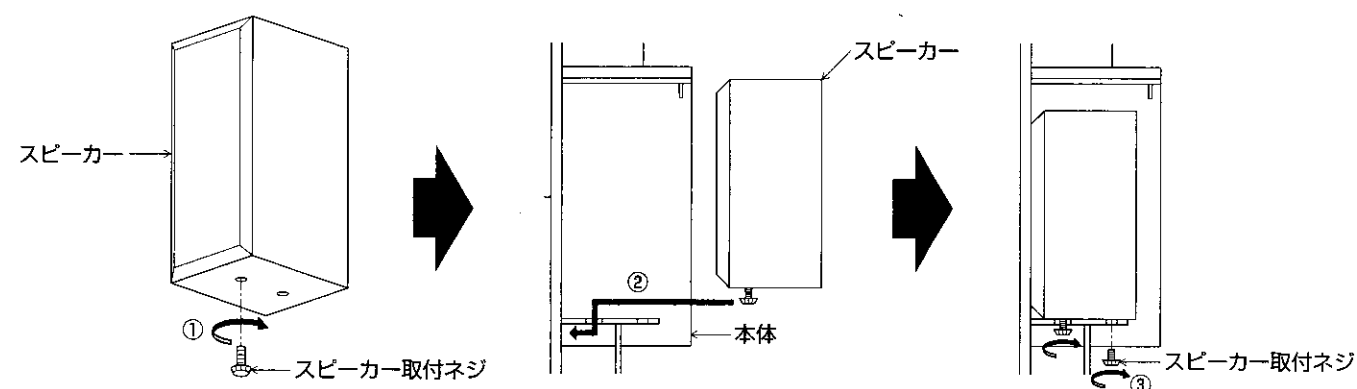
1 カバーを取外す

付属の六角棒スパナでカバー取付ネジをゆるめ、本体からカバーA、カバーBを取外す。



2 スピーカー(別梱)を取付ける

- ①スピーカーにスピーカー取付ネジを1個仮止めする。
- ②スピーカーを本体に合わせる。
- ③スピーカー取付ネジ2個を締め付け固定する。



3 スピーカーとアンプを接続する

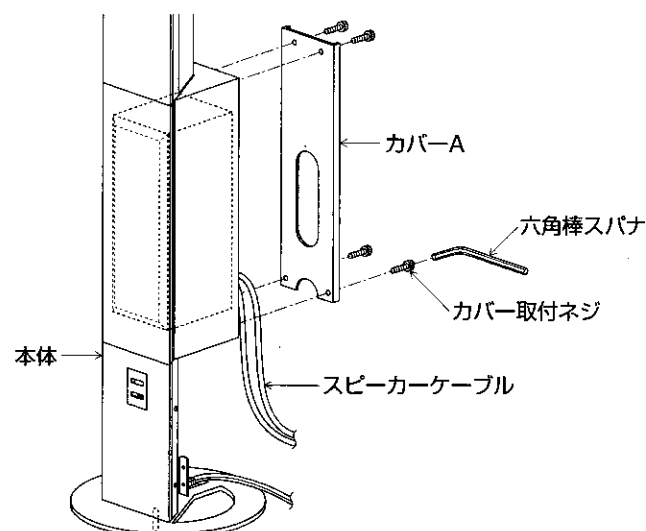
- スピーカーとアンプの接続については、スピーカーに付属の取扱説明書をご参照ください。

※バナナプラグを使用する場合は、先にカバーAを取付けてください。(4 カバーAを取付ける 参照)

4 カバーAを取付ける

カバーAを本体に合わせ、付属の六角棒スパナでカバー取付ネジを締め付ける。

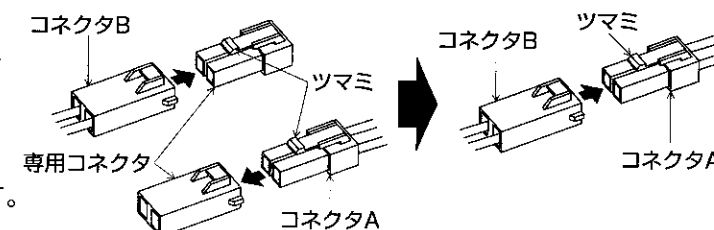
※スピーカーケーブルをカバーAではさまないでください。



5 コネクタを接続する

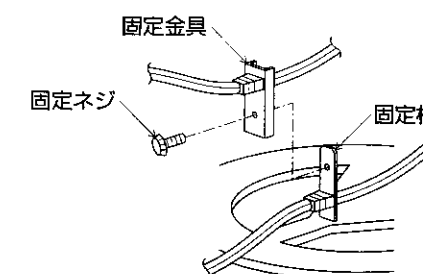
コネクタAとコネクタBから専用コネクタを取外し、コネクタAとコネクタBを確実に差し込む。はずす時はツマミを押しながら抜く。

△警告 電源の接続を確実にこなってください。
接続が不完全な場合は火災・感電の原因になります。



6 固定金具を取付ける

子機の固定金具を親機の固定板に合わせ、固定ネジで取付ける。

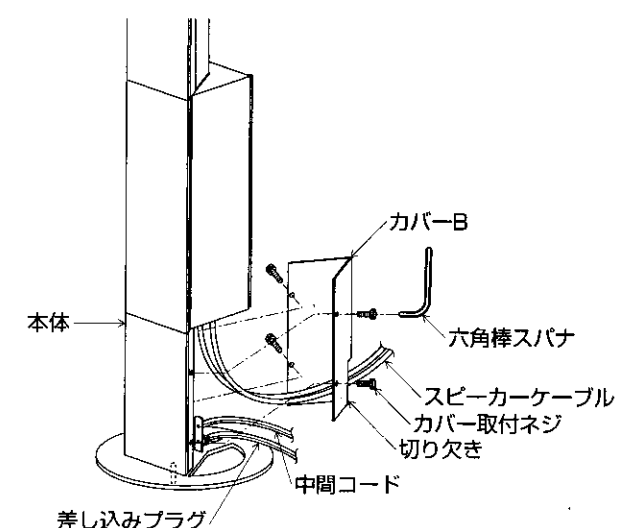


7 カバーBを取付ける

スピーカーケーブルをカバーBの切り欠き部に通し、カバーBを本体に合わせ、付属の六角棒スパナでカバー取付ネジを締め付ける。

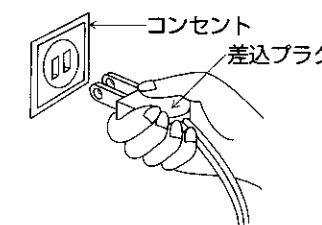
※スピーカーケーブルをカバーBではさまないでください。

△警告 スピーカーケーブルを足や手に引っ掛けて本体を転倒させることのないように設置してください。
火災・感電・転倒によるけがの原因になります。



8 差込プラグを接続する

コンセントに差込プラグを差し込む。



9 点灯の確認を行なう

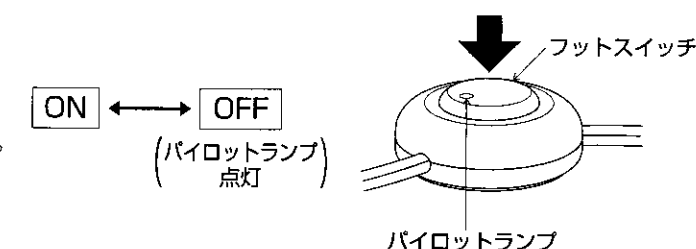
■点灯順序

- フットスイッチを軽く足で押してください。

※フットスイッチを強く踏んだり、重いものを載せないでください。破損の原因になります。

- フットスイッチをONにすると全灯状態にて点灯します。OFFにするとどの点灯状態でも消灯します。

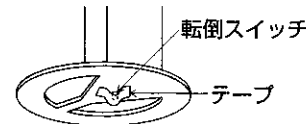
※フットスイッチでOFFにした場合のみパイロットランプが点灯します。



■転倒スイッチについて

△警告 転倒スイッチをテープなどで固定して使用しないでください。
転倒の際、正常に動作しなくなり火災の原因になります。

※転倒スイッチの動作により全灯状態に切り替わることがあります。



■リモコンで操作する

※フットスイッチをONにし、リモコン送信機を操作してください。

1 リモコン送信機の操作について

リモコン送信機は必ず器具に向けて操作してください。
また、リモコン送信機を操作すると、確認音が本体よりします。

調光(▼▲)スイッチ

▲あるいは▼スイッチを押し続けると100%～約10%の間で好みの明るさに調節できます。
※初期状態の調光は約60%に設定されています。
調光スイッチの操作により設定を変えた場合は次回、順送りスイッチを押したときはその明るさで点灯します。
ただし、フットスイッチまたは停電などで一定時間電源が切られた場合には初期状態の約60%調光にもどります。
※調光状態は、室温、器具形態によって多少変化します。

チャンネルスイッチ

2台の器具を個々に操作する場合に器具側のスイッチと合わせます。
※「3チャンネルの設定について」をご確認ください。

順送りスイッチ

全灯 → 調光 → 消灯
の順送りが可能です。

30分オフスイッチ

30分後に器具が消灯します。

60分オフスイッチ

60分後に器具が消灯します。

タイマー解除スイッチ

タイマーを解除します。(タイマー作動時のみ)
※消灯お知らせ機能
オフタイマー設定時間の1分前になると約10%調光点灯に切り替わります。

消灯スイッチ

全てのランプが消灯します。
※タイマー起動時はタイマーも解除されます。

2 リモコン受信部のスイッチについて

リモコン受信部

リモコン送信機からの信号を受けます。
(傷つけたり、汚したりしないでください。)

チャンネル選択スイッチ

出荷時はⅠに設定されています。
器具施工時に変更されている場合がありますので、「3チャンネルの設定について」をご確認ください。

3 チャンネルの設定について

<1台の器具のみ操作する場合>

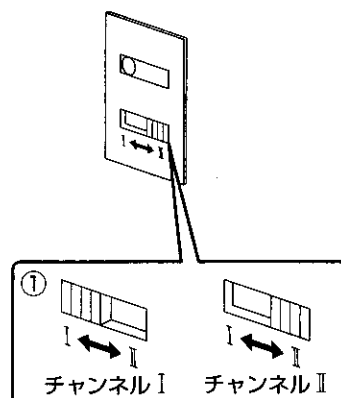
リモコン送信機のチャンネルをⅠにしてください。

<2台の器具を操作する場合>

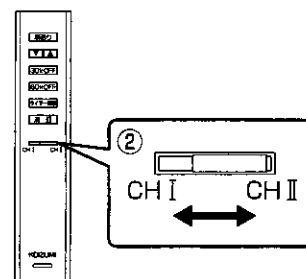
一室で2台の器具をリモコンで操作する場合には、どちらか一方のリモコン受信部側のチャンネルをⅠにし、他方をⅡにしてください。
リモコン送信機側のチャンネルを操作したい照明器具のチャンネルに合わせてください。

※本製品は灯具2台1組ですので灯具1台ずつの個別操作はできません。(2台同時に機能します。)

リモコン受信部側

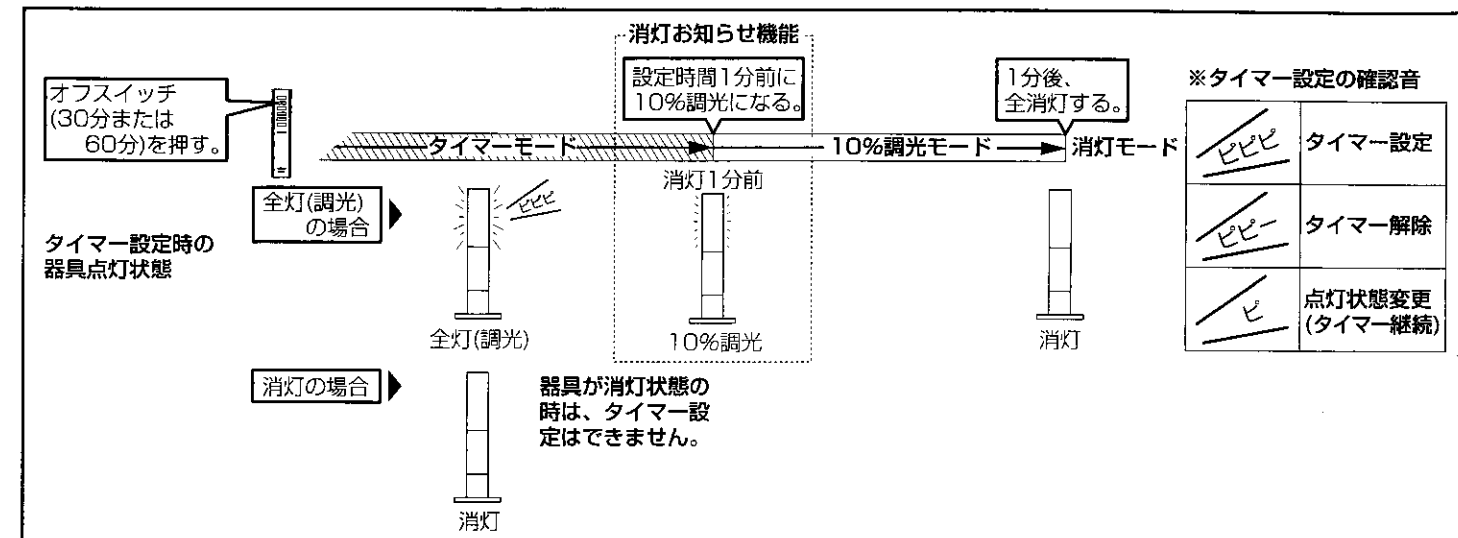


リモコン送信機側

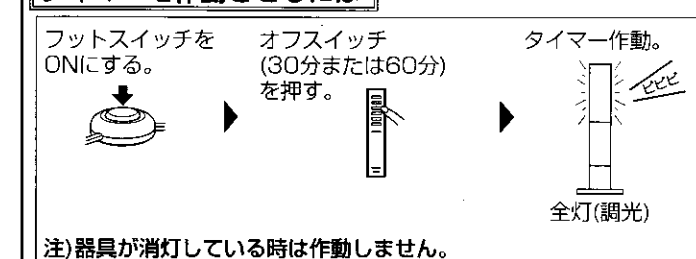


■タイマーの設定について

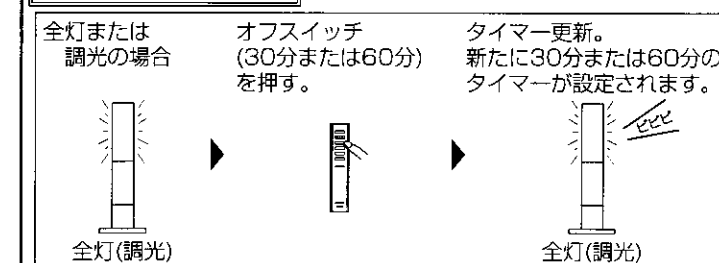
※照明器具のみの設定です。スピーカーには設定できません。



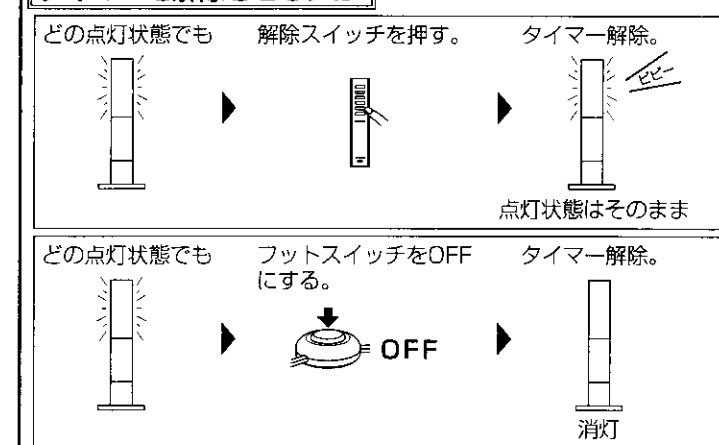
タイマーを作動させるには



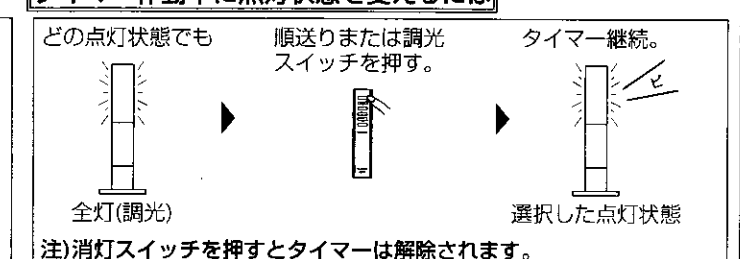
タイマー時間の更新



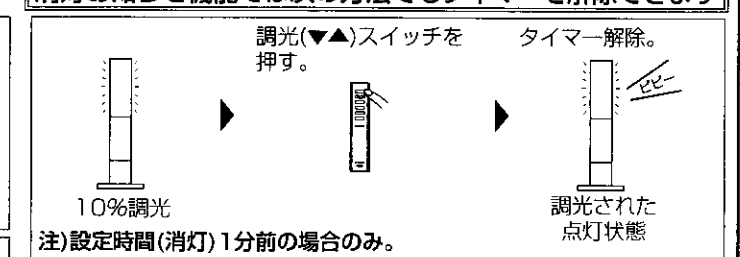
タイマーを解除させるには



タイマー作動中に点灯状態を変えるには

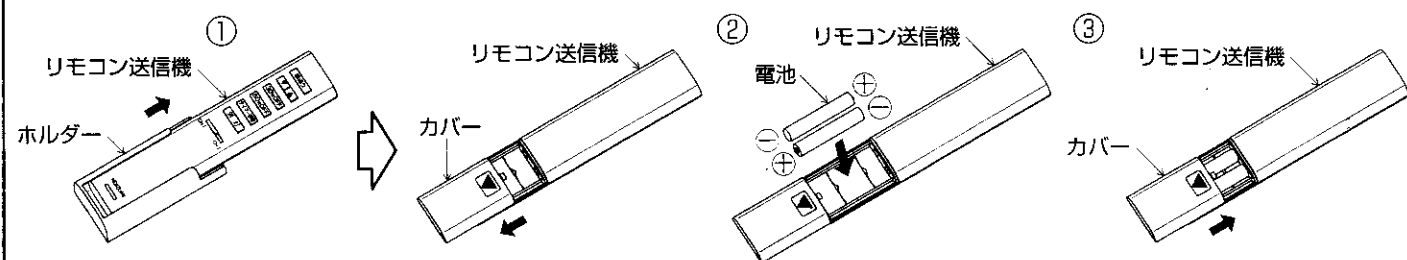


消灯お知らせ機能では次の方法でもタイマーを解除できます



1 リモコン送信機をホルダーから取出す

- ① リモコン送信機裏側のカバーを手前に引き、カバーを外す。
- ② 電池の極性を表示に合わせて入れる。
- ③ カバーを取付ける。



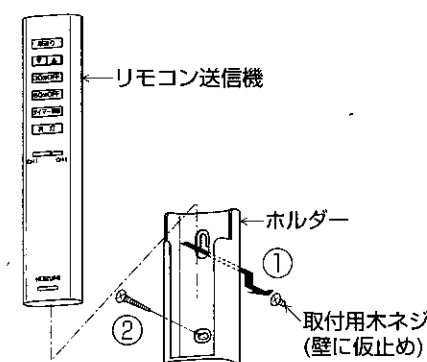
お買い上げ時にセットされている電池はモニター用電池ですので、早く切れることがあります。あらかじめご了承ください。

2 リモコン送信機を壁などに取付ける場合

- ① 必ず付属の取付用木ネジ1本を壁に仮止めしてから、ホルダーを引っ掛ける。
- ② 2本目の取付用木ネジを取付けてから仮止めの取付用木ネジをねじ込み、固定する。

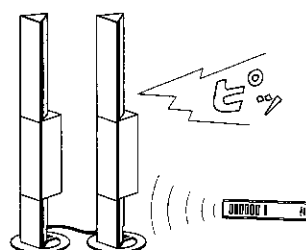
※その際、強く締め込まないようにする。
ホルダーが破損するおそれがあります。

※操作する場合はホルダーから取り出し、器具に向けて行なってください。



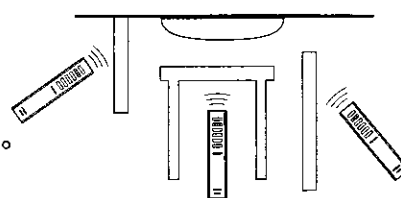
3 リモコン送信機を操作

すると確認音が本体よりします。



4 使用上のご注意

- このリモコン送信機は、コイズミ照明器具専用です。
リモコン式テレビなどには使用できません。
他社の照明器具が動作する場合がありますが故障ではありません。その際は、器具とリモコン送信機のチャンネルを切り替えてください。
- スタンドの受光器はテレビ画面には向けないでください。
誤作動の原因になります。
- 電池の寿命は、1日10回の常温使用で約半年です。
電池は半年を目安に、必ず2本同時に交換してください。
※充電式(Ni-Cd)電池は使用できません。
- 器具によっては、反応が遅い場合がありますが故障ではありません。
- スイッチを早く押すと反応しない事がありますので、ゆっくり操作してください。
- 長時間使用しない場合は、フットスイッチをOFFにしてください。
リモコン送信機で消灯した場合、照明器具側に待機電力がかかり電力を消費します。
- フットスイッチで電源を切った場合は、リモコン送信機を操作しても器具は動作しません。
フットスイッチで電源を入れてから操作してください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。
故障の原因になります。
- 温度の高くなるものの近くでは使用しないでください。
過熱・故障の原因になります。
- 室温が低い場合は、点灯直後の再操作に時間がかかることがあります。
器具内の温度が上昇しますと正常に戻ります。
- リモコン送信機の発信部が汚れますと作動しにくくなります。
乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
- リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、作動しない場所があります。
しゃへい物をさけて再度スイッチを押してください。
- 器具をご使用になる部屋の天井・壁・床などの色が黒っぽいとリモコン送信機が作動しにくい場合があります。



■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。
数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 安全のため、転倒すると転倒スイッチが作動し、消灯しますが故障ではありません。ただし、親機が転倒すると親機・子機ともに消灯しますが、子機のみが転倒した場合は子機のみ消灯となります。
安定した場所に設置しますと再度点灯します。
- セード押さえの放熱穴の上に物を置かないでください。火災の原因になります。
- 器具を動かす場合は、スピーカー部を持って、器具をもち上げて動かしてください。
セード部などを持って動かすと、破損・故障の原因になります。

■ランプ交換について ▲注意 ランプ交換の際は安全のため差込プラグを抜いてください。感電の原因になります。

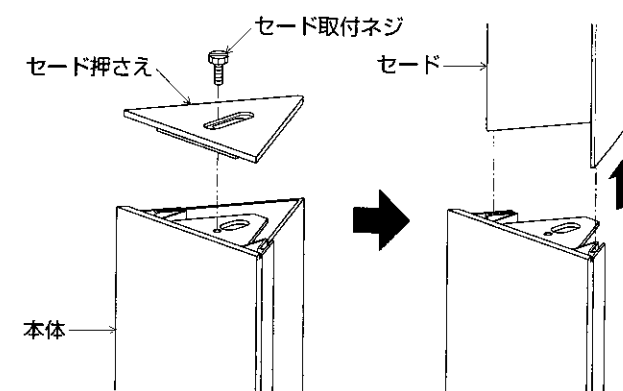
▲警告 指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

▲注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

1 差込プラグを抜く

2 セードを外す

セード取付ネジをゆるめ、セード押さえを外し、セードをスライドさせ、本体から取外す。



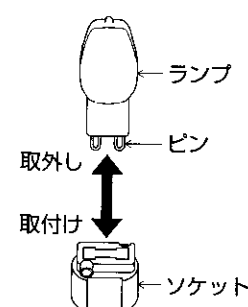
3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプのピンをソケットに合わせ、まっすぐに差し込む。
ランプの取付けは丁寧に、確実にに行なってください。
落下によるけがの原因になります。

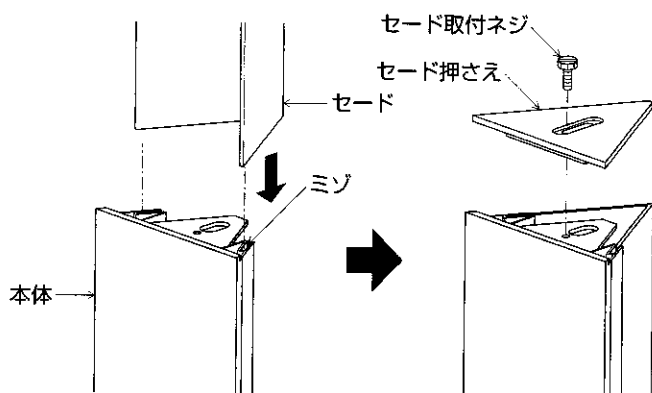
※無理な力は加えないでください。
ランプの破損や点灯不良の原因となります。

※取付けの際にランプを直接手や汚れた手袋で触れないでください。
ランプが汚れた場合は、アルコールなどで汚れを取り除いてください。



5 セードを取付ける

セードを本体のミゾにはめ込み、セード押さえを合わせ、セード取付ネジで取付ける。



6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ ▲注意 器具のお手入れの際は安全のため差込プラグを抜いてください。感電の原因になります。

▲警告 器具を水洗いしないでください。火災・感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 木・和紙の部分の汚れはハタキでホコリを払ってから乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
変質の原因になるので水拭きしないでください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。